

下水道接続率向上のためのアンケート調査 2023

那珂市上下水道部下水道課

調査の目的

公共下水道及び農業集落排水(以下「下水道」という。)の安定的な経営のためには、接続率の向上が非常に重要となります。本アンケート調査は、市民の皆様が下水道に接続しない具体的な理由や、市に求める支援等を把握し、今後の接続率向上のための施策検討に活用することを目的としています。

調査概要

調査時期：令和5年9月～令和5年10月

対象地区：【公共下水道】額田南郷地区・額田北郷地区・門部地区

※供用開始から5～10年経過している地区のうち、接続率が60%に満たない地区

【農業集落排水】酒出地区地区

※供用開始から5年以内の地区

対象件数：354件

回答件数：124件(うち2件は接続済)

回答率 :35%

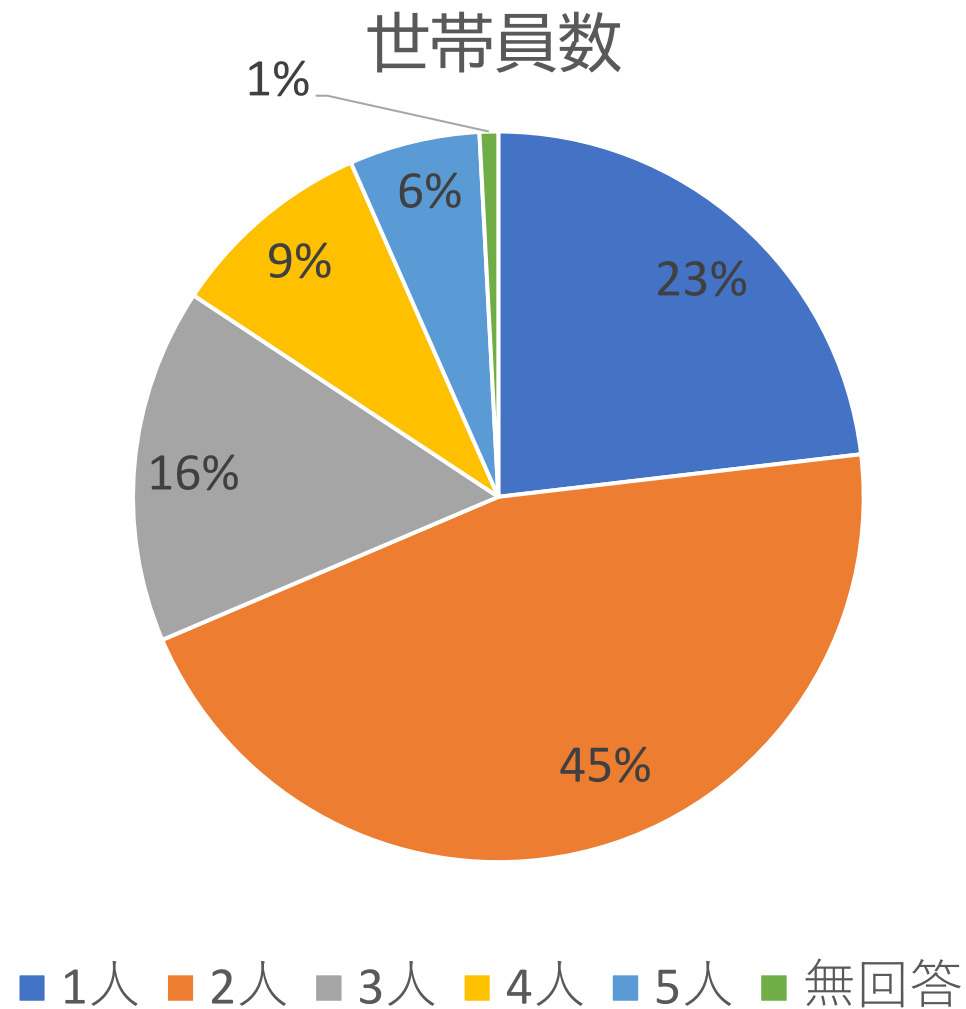
回答者情報【居住地区別・年代別】

居住地区	回答者数(人)
門部地区	16
額田南郷地区	14
額田北郷地区	38
酒出地区	56
合計	124

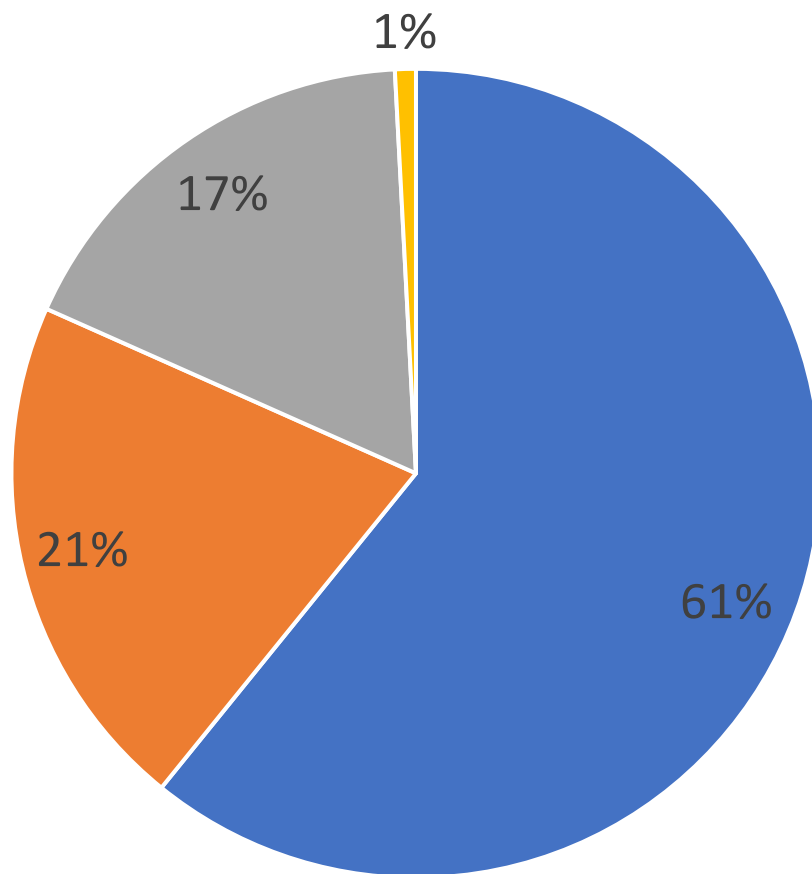
年代	回答者数(人)
20代	1
30代	0
40代	5
50代	12
60代	38
70代以上	67
無回答	1
合計	124

回答者情報【家族構成別】

家族構成	回答者数(人)
単身世帯	28
核家族	82
大家族 (2世帯・3世帯など)	11
無回答	3
合計	124



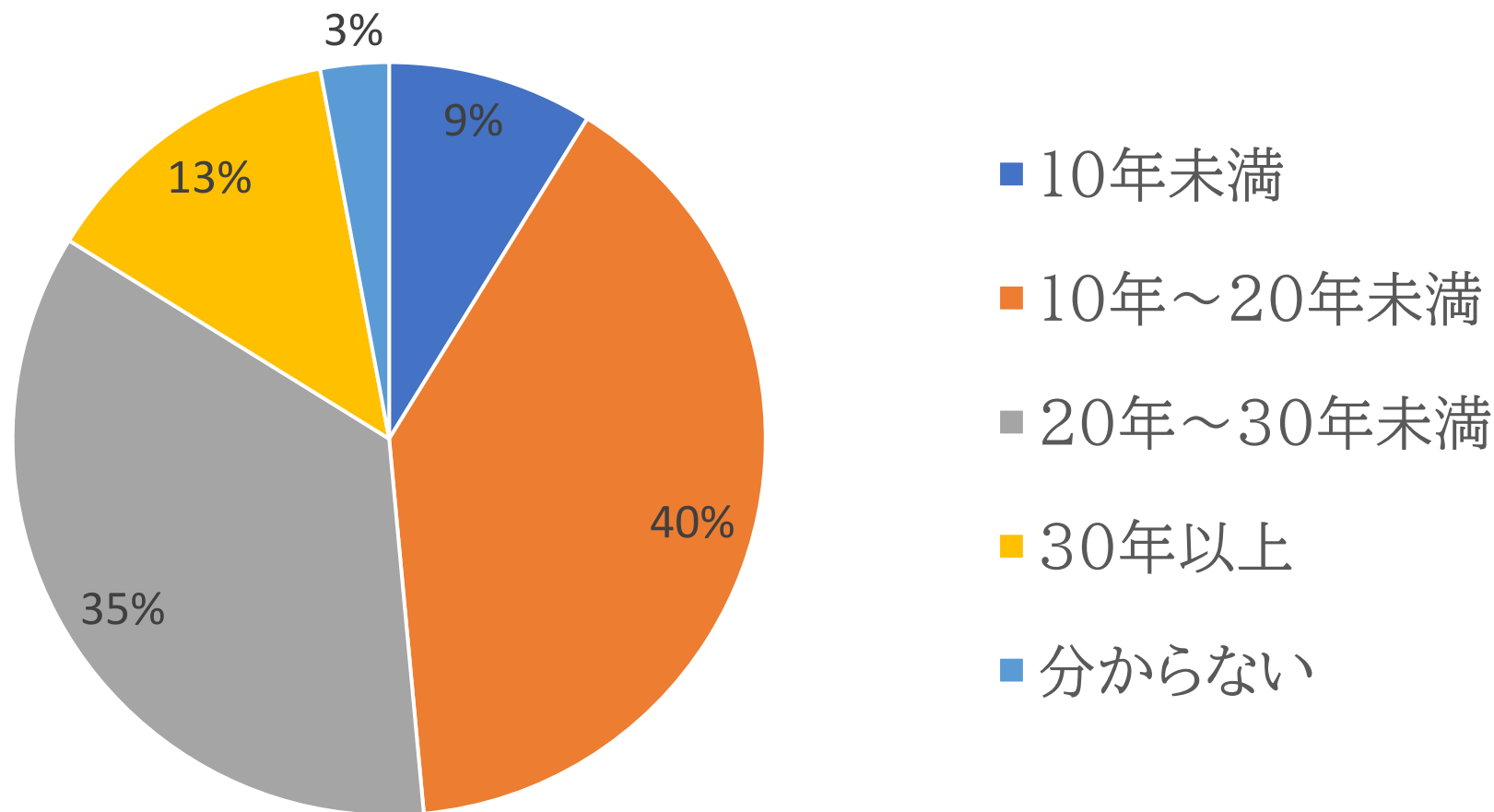
1. ご家庭のトイレや台所・お風呂などの生活排水はどのように処理していますか。
(n = 1 2 2)



- トイレもその他の排水も、合併処理浄化槽で処理している
- トイレは浄化槽で処理し、その他の排水は敷地内で処理している
- トイレはし尿汲み取りで処理し、その他の排水は敷地内で処理している
- 分からない

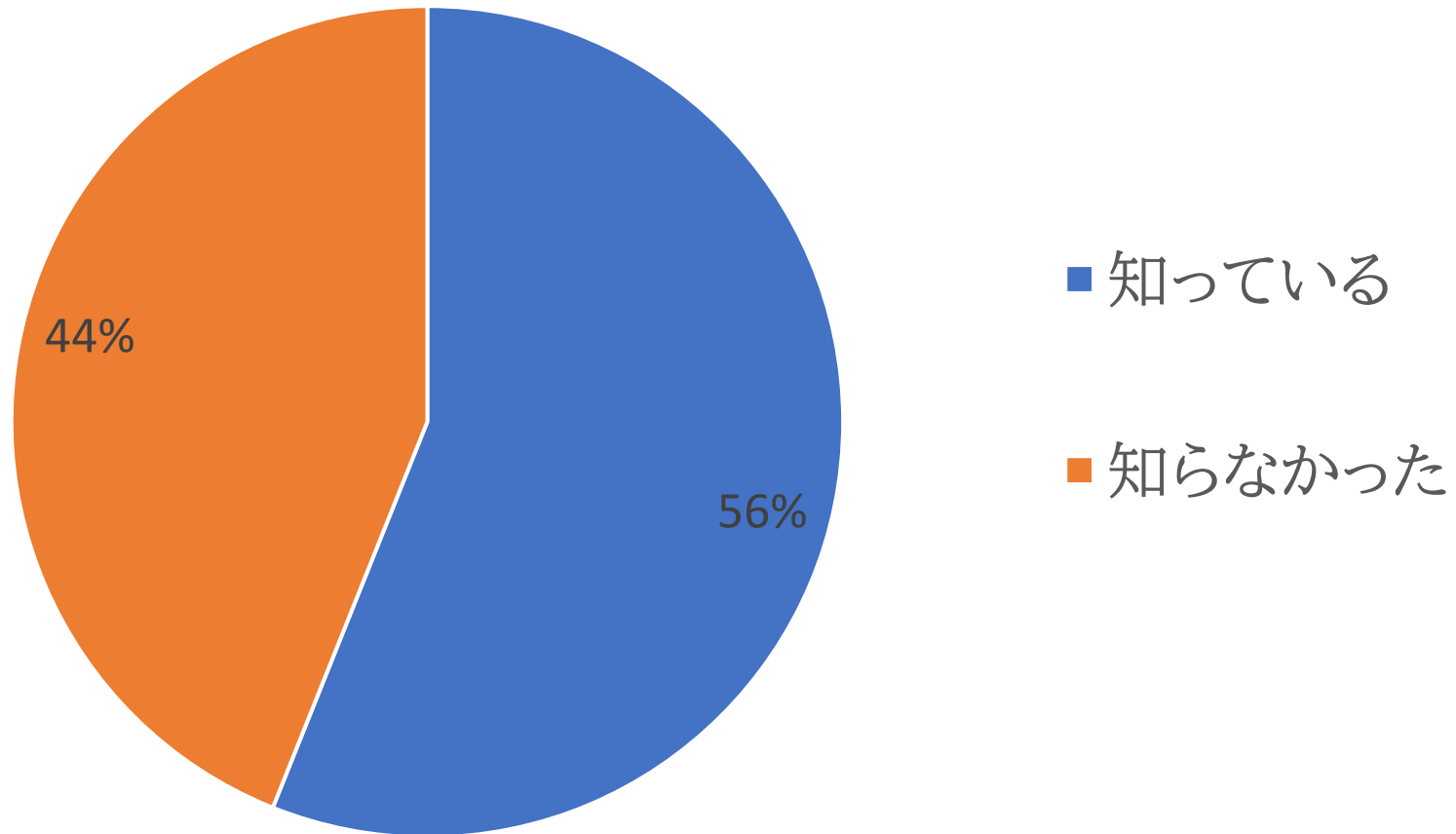
80%以上の世帯が生活排水を浄化槽で処理しており、そのうちの70%以上が合併処理浄化槽を使用している。

2. 現在お使いの合併処理浄化槽は、設置してからどれくらい経過していますか。
(n = 73)



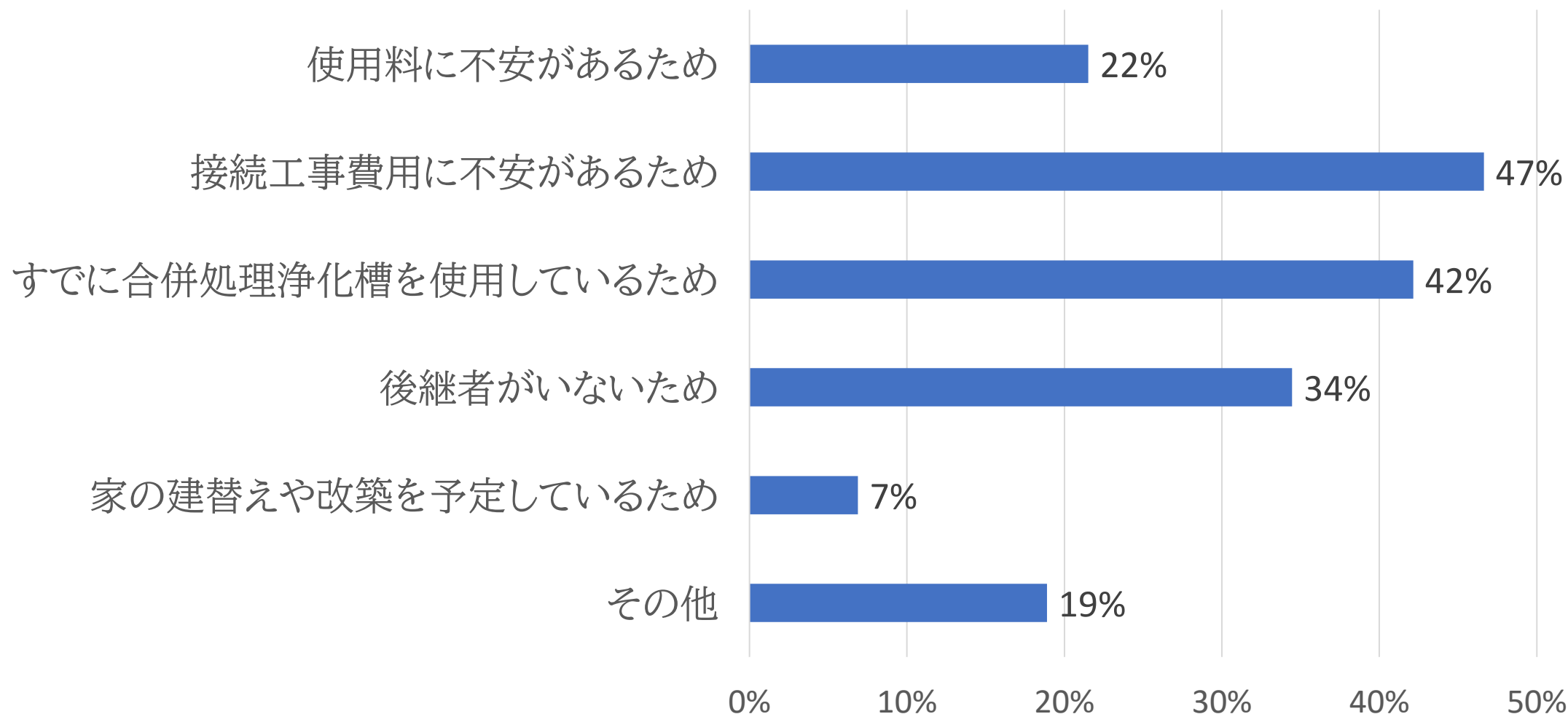
合併処理浄化槽の設置から10～30年経過している世帯が最も多い。

3. 【公共下水道区域のみ】下水道を使用できるようになった区域では、下水道法により接続が義務づけられていることをご存知ですか。（n = 66）



下水道への接続義務について、44%が「知らなかった」と回答した。

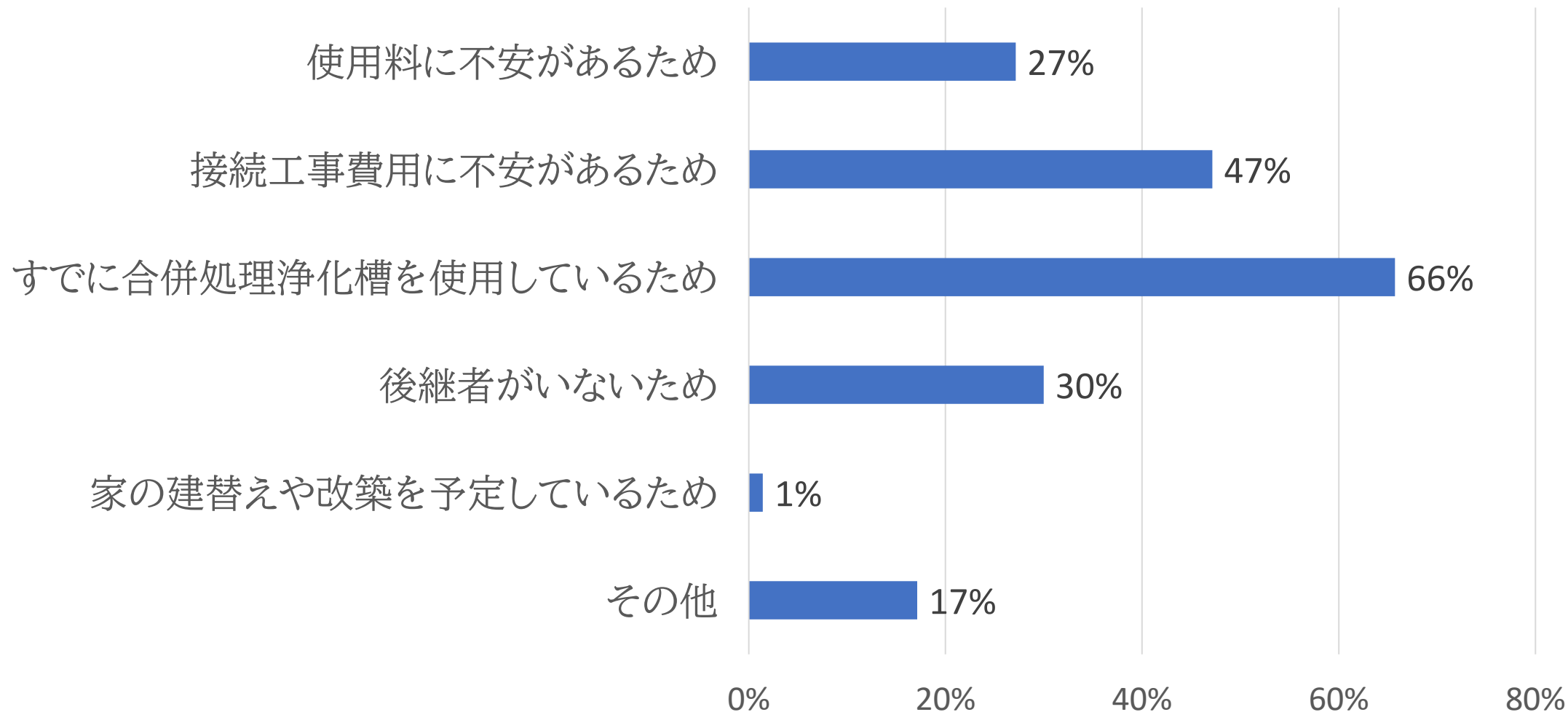
4. 【複数選択】公共下水道や農業集落排水が使用できるようになってから、これまで接続されなかった理由は何ですか。（n = 118）



接続しなかった理由については、「接続工事費用に不安がある」「すでに合併処理浄化槽を使用している」「後継者がいない」が上位となった。

4. 《合併処理浄化槽使用世帯》

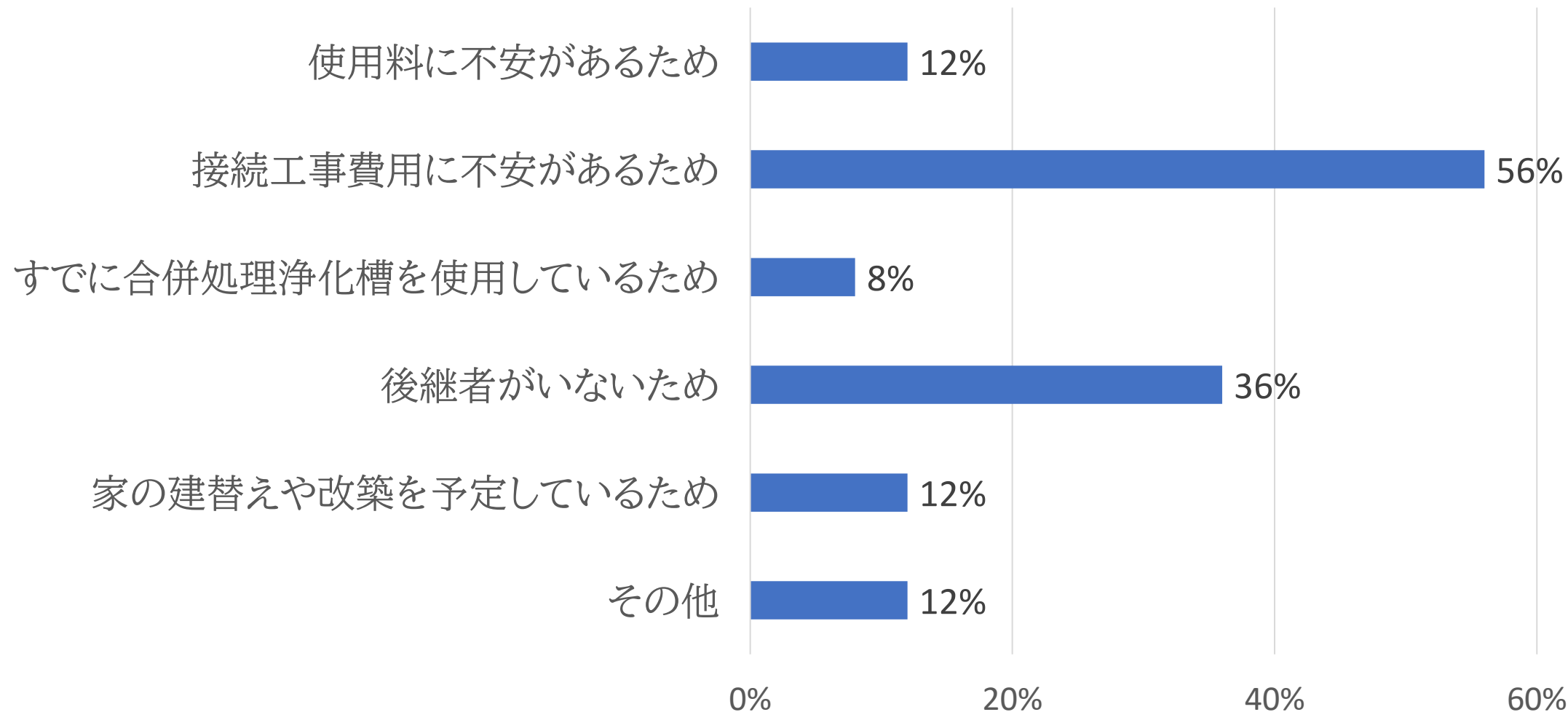
【複数選択】公共下水道や農業集落排水が使用できるようになってから、これまで接続されなかった理由は何ですか。（n = 70）



合併処理浄化槽を使用している世帯において、接続しなかった理由は「すでに合併処理浄化槽を使用している」が最も多い。

4. 《浄化槽使用世帯》

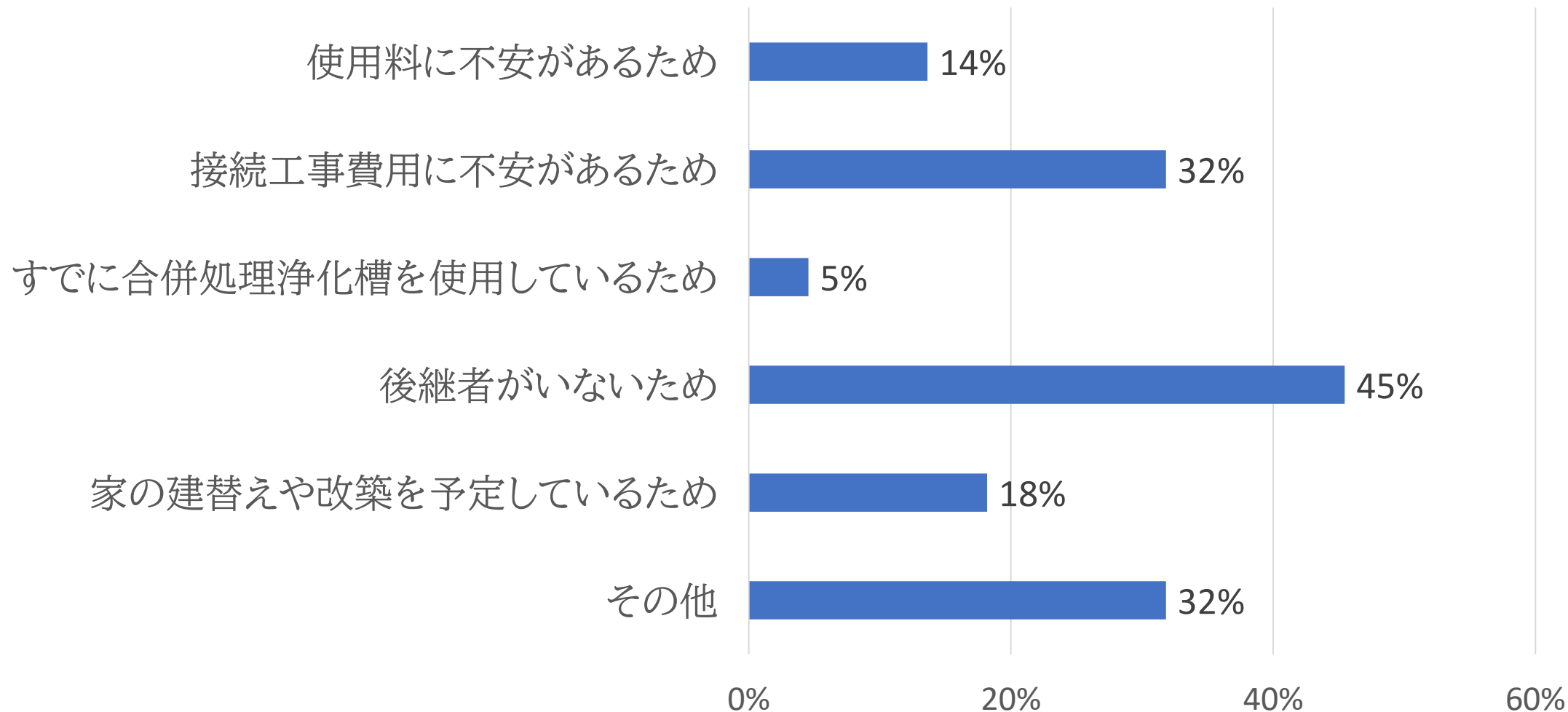
【複数選択】公共下水道や農業集落排水が使用できるようになってから、これまで接続されなかった理由は何ですか。（n = 25）



浄化槽を使用している世帯において、接続しなかった理由は「接続工事費用に不安がある」が最も多い。

4. 《し尿汲み取り・その他の世帯》

【複数選択】公共下水道や農業集落排水が使用できるようになってから、これまで接続されなかった理由は何ですか。（n = 22）



し尿汲み取り等を行っている世帯において、接続しなかった理由は「後継者がいない」が最も多い。

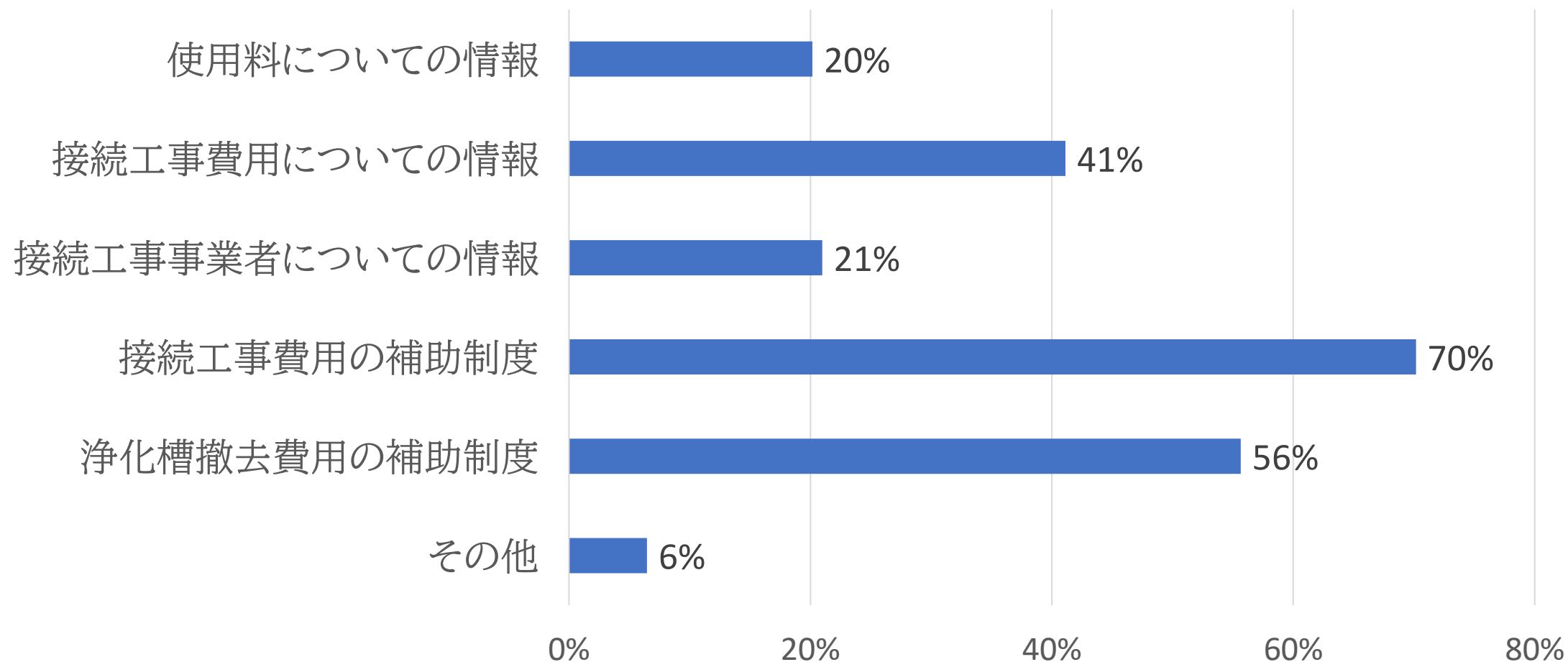
4の質問に「その他」と回答した、具体的な内容①

- 浄化槽撤去及び下水道接続に金額がかかりすぎる、下水道法を強制的すぎる。
- 浄化槽を入れて、新しい為。
- 庭を全面コンクリートにした。接続するのは不可能である。当時、下水道に接続していないことを忘れていた。
- 87才ですので、子供の所に行こうと思っています。
- 介護施設への入居の考慮。
- 工事資金がないため
- 合併処理槽を設置し、新しく、もったいないと思ったので。
- 父亡き後、空き家になっている為
- 世帯は1人ですが、長男家族と同居しており、長男が解決すべき事と思っている為。
- 接続工事費用見積り60万～100万と高過ぎる。
- 浄化槽排水の宅地内処理の浸透櫛も未だ機能しているため。
- 後継者はいるが、後継者がここに住み続けるかわからないから。
- 接続する前に、死亡した為。
- 那珂市に住んでいない。

4の質問に「その他」と回答した、具体的な内容②

- 現状で特に問題が無い。接続するには費用が掛かる。
- 使用頻度が少ないため。
- 現在別な家(下水道接続)で生活をしている。対象地の家は明治の家なので、取り壊そうと思っている。水も井戸水で不安なため、3年前から使用していない。水道管も3、4箇所漏れている状態で、水・トイレ等すべて使っていない。
- 相続はしたが、現在も将来もそこに住む予定がないため。
- 現在居住していない。また、居住の予定もない為。「3年以内に接続しなければならない…」は一度も説明がなかった。
- 空き家
- 建替えや、移住を検討しているため
- 私のところは接続弁から接続口まで約7～80mありまして、加えて中継桝の設置の可能性も想定されます。これらの設置費用には多額の費用が掛かるもの推計され、年金生活者にとってこれらの多額の工事費用を捻出するのは簡単ではありません。従って現状速やかに設置できる状況ではありません。将来住宅の建替えあるいは改築の機会があればその時点で考えたいと思います。

5. 【複数選択】公共下水道や農業集落排水に接続するためには、どのような情報や支援があればいいと思いますか。（n = 106）



市民が求めている支援は、「接続工事費用の補助制度」が最も多く、次いで「浄化槽撤去費用の補助」となり、金銭的支援が上位となった。

5の質問に「その他」と回答した、具体的な内容

- トイレの改装工事費用の補助金
- 浄化槽の耐用年数について周知すれば接続を検討する方が多くなるのではないか。
- 使用上の利点を定期的に啓蒙活動してはどうですか？
- 将来、壊す予定なので、接続することは考えていない。今住んでいる所は、もう下水道に接続している。
- 工事費用が大変です。
- 居住実態がない為、特に必要なし。
- 公共枿の設置場所に不満。
- もちろん行政サイドが個人に直接的な財政支援が難しいのは理解しております。しかしながら同じ行政サービスを受けるのに接続弁までの距離の遠近でかなりの金額的差が出る事には釈然としません。是非とも住民サイドの悩みに寄り添った行政サイドの工夫した支援をお願いします。